

第 75 回全国植樹祭の協力活動 報告書

場 所	秩父市ミュージックパーク（秩父市、小鹿野町）
日 時	2025 年 5 月 25 日（日） 7：15～18：00
天 候	曇り
参加者	池田 浩、沖本八十陽、桂 幸一、上井光裕、河野 満、久保雅春、桑原裕則、善宝俊文、豊福 匠、藤井庸図、水落直人、毛利英美子、横山 功、芳野光夫、渡辺英城 ※池田雄二（特別招待者）
報告者	藤井庸図
活動内容	1. 招待客による植樹作業の案内及び補助活動（各人が割当箇所にて実施） 2. 植樹祭記念式典の観覧（おもてなし広場にて、モニター観覧）
特 記	<p>第 75 回全国植樹祭埼玉 2025</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 令和 7 年（2025 年）5 月 25 日（日） ・主催 公益社団法人国土緑化推進機構、埼玉県 ・大会テーマ 『人・森・川 つなげ未来へ 彩の国』 ・式典会場・植樹会場 秩父ミュージックパーク（秩父市、小鹿野町） <p>式典会場では、式典行事、天皇陛下によるお手植え、お手播き行事を実施。また、各種展示 PR 等を行うおもてなし広場を設置し、招待者を歓迎します。県内外の参加者が記念植樹を行う植樹会場を秩父ミュージックパーク内に設置します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催規模 招待者 3500 人、実施本部員・協力員・出演者等 1500 人、合計 5000 人（警備含まず） ※我々は協力員という立場になります <p>1. 招待客による植樹作業の案内及び補助活動：午前</p> <p>ゴルフのショートコースだった所に招待者が植樹をします。会場全体で広葉樹約 30 種、4800 本の苗木を植え、樹種はこの地方で自生するものを選んでいきます。木が生えていないコース上に植樹をし、森の再生を図ります。</p> <p>一区画あたり 39 本（招待客は 39 人）の植樹をしますが、協力員 1 人あたり 2 区画担当し、準備作業、植樹会場内の誘導、招待者に対する植樹方法の説明及び補助、終了後に後片付けを行います。事故もなく順調に進める事ができた、と管理者からの言葉を聞いて一安心、また招待者は写真を撮ったり歓談したりと思い思いに楽しんでいる姿が見られ、我々も楽しむ事ができました。</p> <p>2. 植樹祭記念式典の観覧（おもてなし広場にて、モニター観覧）：午後</p> <p>招待者は植樹後におもてなし広場にて昼食後、式典会場に入り式典の開始となります。最初はプロローグの演目が行われ、暫くしてから天皇陛下がご臨席され、各ご挨拶、招待者の表彰式（当会の池田会長も緑化功労者として表彰されました）、天皇陛下・特別招待者によるお手植え・お手播きが行われ、その後演目が続きエピローグに向かいます。天皇陛下はエピローグの前にご退席されました。</p> <p>我々のような協力員は式典エリアには入れないのでおもてなし広場に入り、小さいモニターで式典を観覧します。演目については大会テーマに沿った内容であり、埼玉県久喜市出身の本多静六博士をクローズアップしながら、埼玉の森や川について、林業を通して人と森との関わりについて描かれており、過去の出来事、現在の状況及び今後進める方向について考えさせられる内容になっていました。</p> <p>※我々は一般招待者の退出後、午後 6 時過ぎの退出となりました。</p>

植樹風景



ポッドに入った苗木(植樹前)



招待者が植樹後に記念撮影



協力員として参加したメンバー



中央の山形屋根の建物がお野立所(天皇陛下臨席場所)
その手前の緑の所で演目が催される
手前の木製ベンチに招待者が座る



記念式典の演目: 右側のオレンジ色の人物は林家たい平



天皇陛下によるお手植え(モニター画面)
※補助しているのは「緑の少年団」



おもてなし広場
埼玉県内の様々は物品等が
展示・販売されていた



以上